



かながわの交通

2011
1

今年の交通安全年間スローガン(内閣総理大臣賞、最優秀作) 一運転者(同乗者を含む)に対するもの—


ぼくはここ チャイルドシートが 指定席



謹賀新年

秦野市・弘法山から富士山を望む

ハンドルキーパー運動推進中!



飲酒運転根絶!!

今日のハンドルキーパーさんは?

◎県内の交通事故発生概況(12月末)

年別	区分	発生件数	死者数	傷者数
平成22年		41,817	182	49,580
平成21年		43,017	176	51,056
増減数		-1,200	+6	-1,476
増減率		-2.8	+3.4	-2.9

◎県人口・運転免許人口

	総数	男	女
県人口	9,029,996	4,543,159	4,486,837
免許人口	5,495,075	3,217,189	2,277,886
割合	1.6人に1人	1.4人に1人	2.0人に1人

(県人口は9月1日、免許人口は11月末)

(財)神奈川県交通安全協会会長

岡崎 洋



明けましておめでとうございます。皆様には、ご家族共々希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶びを申し上げます。

年頭、挨拶

神奈川県警察本部長

渡辺 巧



謹んで新年の御挨拶を申し上げます。財団法人神奈川県交通安全協会の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

交通安全協会の運営につきましては、平素から深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年の県内の交通事故情勢につきましてもありますが、発生件数、負傷者数は、一〇年連続減少と記録を更新することができ、交通事故情勢は確実に年々改善されており、県警察をはじめとする、関係機関・団体の皆様方の長年にわたるご尽力の賜と深く謝意を表す次第であります。

しかし残念なことに、交通事故で亡くなられた方は平成一四年以降の八年連続減少記録を更新することは出来ず、前年比プラス六人という結果に終わりました。

事故の特徴を見ますと、交通事故は減少する傾向にあるものの、高齢者の歩行中あるいは自転車乗車中の事故の

割合は年々増加し、交通事故死者の四割が高齢者という大変残念な結果が発表され、高齢者に対する交通安全意識の高揚啓発活動が大きな課題となっております。

また、罰則が強化されたのにもかかわらず、未だに飲酒運転による交通事故が発生するなど、この根絶に向けた活動も重要となっております。

県交通安全協会といたしましては、本年も県内の交通死亡事故の発生実態に即した高齢歩行者の道路横断中の事故、二輪車乗車中の事故、依然として絶えない飲酒事故の発生などに対応した対策を地区交通安全協会等と緊密に連携し積極的に推進してまいります。

具体的には、子ども、高齢者、障害者等の交通弱者の安全を確保するため「人優先」の交通安全思想を基本に、

絶ハンドルキーパー運動、駅頭等での交通事故防止キャンペーンの実施、児童生徒の保護誘導活動など、ドライバー、歩行者等の交通安全意識を高揚させるための幅広い交通安全対策を積極的に推進していただいた賜ものであると考えております。

県警察におきましても、昨年は、とりわけ全国に比べ交通事故の発生が多い二輪車事故を防止するため、幹線道路における交通取締りや、二輪車安全運転講習の開催など、重点的に実施した結果、二輪車事故の発生件数を減少させることができました。

しかしながら、交通事故により亡くなられた方は、昨年より六人多い一八二人で、また、身体と心に障害を残す悲惨な交通事故が発生している現状をみますと、依然として厳しい交通情勢

夜間における歩行者、高齢者や自転車の交通事故防止に効果の高い反射材用品の普及促進を引き続き進めてまいります。また、飲酒運転の根絶のため、飲酒運転の危険性の広報啓発をさらに積極的に展開し、飲酒運転を許さない社会環境づくりをして参りたいと考えております。

また、当協会は本年から「公益財団法人神奈川県交通安全協会」として、新たな公益法人としてのスタートをきることとなりますが、県警察をはじめ関係機関・団体の皆様方のご指導、ご協力をいただきながらより公益性の高い活動を展開して参ります。

皆様方におかれましても、地域における交通安全の一層の向上のため、引き続き、ご尽力を賜りますようお願い申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

にあるものと認識しております。

そこで、県警察では、本年も交通事故抑止対策の強化を重点目標に掲げ、これまで成果を上げてきた二輪車・高齢者・自転車・飲酒運転根絶に加え、昨年増加した主要幹線道路対策の五つを重点的に推進するなど、安全で安心な交通環境の確立に努めてまいりますので、引き続き警察活動に御理解と御協力をお願い申し上げます。

どうか、貴協会におかれましても、今まで以上に地域、家庭における交通安全意識の普及、高揚にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びになりますが、本年も貴協会のますますの御発展と会員の皆様の御健勝を心から祈念申し上げます。年頭の挨拶とさせていただきます。

貴協会には、平素から交通安全活動はもとより、警察行政各般にわたり深い御理解と御協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

とりわけ、APEC首脳会議対策期間中にありましては、貴協会を始めとした関係機関・団体等、多くの皆様の御協力をいただき、官民一体の取組みを行った結果、違法行為を未然防止し、課せられた治安責任を全うして、行事の安全かつ円滑な進行はもとより、県民生活の安全安心を確保するという所期の目的を達成することができましたことに、深く感謝申し上げます。

さて、昨年の県内の交通事故情勢につきましても、人身交通事故の発生件数及び負傷者数は一〇年連続で減少し、大きな成果を上げたところであります。これも、貴協会による、飲酒運転根

第51回交通安全国民運動中央大会
1月18日、日比谷公会堂で本会議

神奈川県は金章8名、銀章36名、団体等が受賞

1月18日、日比谷公会堂で開催される第51回交通安全国民運動中央大会本会議における神奈川県交通安全栄誉章緑十字金・銀章等の受章者及び団体は次のとおりです。

★交通安全栄誉章緑十字金章

宮崎 弘(加賀町)
宮沢 昭四郎(磯子)
渋谷 慎一郎(戸部)
村野 博(宮前)
野渡 訓(藤沢北)
鈴木 清之助(小田原)
上村 愛(小田原)
小澤 光(幸安管)

★交通安全栄誉章緑十字銀章

堀 晃一(鶴見)
松村 祥男(港南)
鈴木 一美(栄)
渡邊 清治郎(横浜水上)



宮沢さん



宮崎さん



村野さん



渋谷さん



鈴木さん



野渡さん



小澤さん



上村さん

三谷 喜幸(川崎)
齊藤 實(幸)
齊藤 茂(高津)
近藤 昭一(高津)
小泉 敏夫(高津)
山本 文雄(高津)
伊藤 栄一(多摩)
山崎 孝(横須賀)
高橋 寛(横須賀)
JUNGNICKEL JENSUWE
(ユングニッケル イェンスウエーベ)
向田 論司(横須賀)
豊間 茂司(葉山)
山本 元洋(鎌倉)
大木 泰次郎(鎌倉)
野口 徳儀(藤沢北)
中村 克巳(藤沢北)
岩崎 賢司(茅ヶ崎地区)

山田 光男(平塚市)
青木 正次(小田原)
小泉 常雄(小田原)
澤地 常雄(小田原)
加藤 文夫(小田原)
茂田 文夫(小田原)
青木 利治(秦野市)
山口 隆三(厚木署管内)
山角 健三(厚木署管内)
三浦 秀三(厚木署管内)
山岸 秀男(大和綾瀬)
大久保 満(海老名市)
三浦 吉治(海老名市)
大西 隆司(茅ヶ崎安管)
池田 謙(足柄地方安管)
小林 勇(都筑安管)
★交通安全優良団体
池上交通安全母の会(横須賀)

★交通安全優良事業所
日本冶金工業(株)
川崎製造所(川崎臨港)

★交通安全優良学校
川崎市立殿町小学校(川崎臨港)

●大和市立中央林間小学校(大和綾瀬)

★優良交通安全協会
●戸塚交通安全協会
●大和綾瀬交通安全協会

新春のお慶びを
申し上げます

財団法人
神奈川県交通安全協会
会長 岡崎 洋



財団法人
横浜市交通安全協会
会長 板橋 悟



社団法人
川崎市交通安全協会
会長 山下 秀男



三浦半島地区
交通安全協会連合会
会長 茂原 啓一



湘南地区
交通安全協会連合会
会長 脇 環



相模地区
交通安全協会連合会
会長 石井 廣好



財団法人
神奈川県交通安全協会
専務理事 片山 隆行



平成23年使用 交通安全年間スローガン決定

～応募総数は154,898点～

平成23年使用の交通安全年間スローガンが決まりました。交通安全年間スローガンは、全日本交通安全協会と毎日新聞社の主催によって毎年全国から募集しており、今年で46回目(第1回は昭和40年)です。全国から154,898点の作品が寄せられ、交通関係機関・団体の関係者や学識経験者による審査を経て、各部門、内閣総理大臣賞(最優秀作)、内閣府特命担当大臣賞(優秀作)、警察庁長官賞(優秀作)がそれぞれ3点ずつと、文部科学大臣奨励賞(こども部門)1点、全日本交通安全協会会長賞(佳作)12点が選ばれました。

★ 運転者(同乗者を含む)に対するもの

- ◎ 最優秀作(内閣総理大臣賞)
ぼくはここ チャイルドシートが 指定席 (千葉県 鈴木優一郎)
- ◎ 優秀作(内閣府特命担当大臣賞)
運転の マナーが光る 早めのライト (新潟県 長橋 正宣)
- ◎ 優秀作(警察庁長官賞)
一滴が 涙に変わる その飲酒 (千葉県 上中 直樹)

★ 歩行者・自転車利用者に対するもの

- ◎ 最優秀作(内閣総理大臣賞)
行けるかな 渡れそうでも 待つ勇氣 (兵庫県 村岡 孝司)
- ◎ 優秀作(内閣府特命担当大臣賞)
自転車も 歩行者優先 いいマナー (三重県 小林 秀夫)
- ◎ 優秀作(警察庁長官賞)
反射材 つけて輝く 身の用心 (大阪府 鈴木 昭博)

★ こども部門

- ◎ 最優秀作(内閣総理大臣賞)
星キラリ 自転車ピカリ 帰り道 (岩手県 佐々木久歌)
- ◎ 優秀作(内閣府特命担当大臣賞)
あぶないよ いそぐきもちが じこのもと (静岡県 河井 隆晟)
- ◎ 優秀作(警察庁長官賞)
目的地 「早く着く」より「ぶじに着く」 (富山県 松葉 綾斗)
- ◎ 優秀作(文部科学大臣奨励賞)
運転手さん 急いでいるのに ありがとう (千葉県 伊東 秀剛)

(敬称略)

◎ 大和市立中央林間小学校



中央林間小学校は、昭和57

年に北大和小学校と緑野小学校から分離し、同年4月1日に誕生しました。本校は、市の最北端に位置し、相模原市の南端に接しています。現在、児童数606名、教職員数38名を擁し、「進んで学ぶ子(自立)」「思いやりのある子(共生)」「心と体の強い子(創造)」を教育指針として、知・徳・体の調和のとれた子ども達の育成に配慮した教育に重点を置いています。

校長以下教職員が児童の交通安全教育に積極的に取り組み、

PTAや交通安全機関・団体と連携して「交通安全フェスタ」の開催や市の主催する「交通安全ポスターコンクール」に積極的に参加しています。その他、新入学児童に対する「安全な歩き方教室」や3年生全員を対象とした「自転車の安全な乗り方教室」を教育課程の中に位置づけて行っています。また、平成18年から「交通安全こども自転車神奈川県大会」に毎年出場するなど児童の交通安全意識の高揚と交通事故防止に貢献しています。

第51回交通安全全国国民運動中央大会で表彰される小学校の紹介

◎ 川崎市立殿町小学校



殿町小学校は、昭和24年に

大師小学校から分離独立して開校しました。

現在、児童数650名、教職員数39名を擁し、所在地は、京浜急行大師線産業道路駅の北方約300メートルに位置し、川崎市の中でも一番東側にある学校です。「健康で心豊かな子ども」「人を尊重し協力できる子ども」「自分で考え工夫する子ども」「勤労を愛し進んで働く子ども」「自然に親しみ自然を愛する子ども」を教育指針として、「子ども達の夢を育む」教育に重点をおいています。

校長以下教職員が「丸」となり、

地元警察署や交通安全協会等と連携して児童の交通安全教育に取り組んでいます。特に昭和53年から「殿町小学校交通安全少年団」を結成して登下校時の交通安全を図っています。その中身は、高学年を班長とした登校班の編制や教職員やPTAなどが主要交差点等における交通誘導活動等を行っています。また、新入学児童に対する特別指導や自転車安全教室などを積極的に行い、児童の交通安全意識の高揚と交通事故防止に貢献しています。

全日本交通安全協会会長優良職員表彰

～本県では3名が受賞
おめでとうございます～



岸さん 白石さん 古根村さん

全日本交通安全協会の優良職員表彰が平成22年11月17日、都内のKKRホテルで行われました。この表彰は、交通安全協会の職員として長きにわたり貢献し、顕著な業績をあげた功労に対して行われるもので、本県の受賞者は次のとおりです。

- 古根村 良子(港北)
- 白石祐二(茅ヶ崎地区)
- 岸 伸子(厚木警察署管内)

トピックス

APEC協力団体として受賞

県交通安全協会は、本年11月に横浜みなとみらい地区で開催されたAPEC首脳会議等に協力した団体として警察本部長から感謝状をいただきました。当協会への感謝状は、県協会、各地区協会が警察署等と連携して行った開催地への交通総量抑制、国際テロの未然防止などの呼びかけに積極的に取り組んだことに對するものです。





ハンドルキーパー運動の紹介

その160 座間市交通安全協会から

～ 座間ふるさと祭りでハンドルキーパー ～

座間市交通安全協会(山口欣司会長)は、「座間ふるさと祭り」の協会ブース前で「飲酒疑似体験ゴーグル」と「ラインチェッカー」を組み合わせた体験コーナーを設置して、来場者に体験してもらいながら、ハンドルキーパー運動の実践を呼びかけました。



その159 県交通安全協会から

～ ハンドルキーパーミニ小旗で訪問活動 ～

(財)神奈川県交通安全協会は、年末の交通事故防止の効果的推進を図るため、「ハンドルキーパーミニ小旗」を作製し、地区交通安全協会へ配付しました。地区協会では、警察署と協力して飲食店へミニ小旗を配りながらハンドルキーパー運動の実践を呼びかけました。



その162 全国共済組合から

～ 馬車道でハンドルキーパー ～

横浜市内の馬車道にある「全国共済」では、自社ビル正面掲示板2ヶ所にハンドルキーパーのポスターを掲出して、道行く人に「ハンドルキーパー運動」の実践を呼びかけています。



その161 厚木警察署管内交通安全協会から

～ 飲食店を訪問してハンドルキーパー ～

厚木警察署管内交通安全協会(石井廣好会長)は、小田急本厚木駅周辺の飲食店を訪問して、チラシ、ポスターなどを配りながらハンドルキーパー運動の実践を呼びかけました。



自転車安全教育・三輪車安全運転推進委員会の開催

その後、委員会メンバーの県(くらし交通安全課)、警察、横浜、川崎市、相模原市等の担当職員により「自転車の交通安全対策への取組み」「三輪車の効果的な交通事故防止対策」について熱心な意見交換が行われました。



12月8日(水)、県協会会館で自転車安全教育推進委員会(午後1時から)、三輪車安全運転推進委員会(午後3時から)が開催されました。各委員会とも委員長挨拶に続き、警察本部交通総務課から「交通事故の発生実態とその対策」の説明があり、次いで、委員会事務局から平成22年中の各委員会の所管業務の取組状況等が報告されました。

この人

62



大磯地区交通安全協会
会長
脇 環 さん

新年あけましておめでとう
ございます。今回は、2011
年のトップを飾り、中郡大磯、
二宮の地で交通安全活動のリ
ーダーとして活躍されている会
長、脇環（わき たまき）さん
を紹介いたします。

中郡の地名は戦国時代に小
田原を拠点に関東地方を支
配した北条氏が、相模国を西
郡（足柄）、中郡（相模川以
西）、東郡（相模川以東）、三浦
郡（三浦半島）に分けて統治し
たと言われています。現在の
中郡は、人口6万2千余、面積
26km²であり、白砂、青松の相模
湾を臨み、自然環境の恵と由
緒ある歴史・文化にも恵まれ、
東西を走る旧東海道（国道1
号）は経済流通の基幹道路と
して町の発展にも大きな役割
を果たしています。

脇会長は、平成元年に当協
会の運営に参画したのを契機
に、数々の役職を歴任され、平
成9年に会長に就任されまし
た。協会の運営に当たりまし
ては、警察や交通安全機関・団

体と緊密な連携をとりながら、
各季に行われる交通安全活
動では、強力なリーダーシッ
プを発揮され、事業推進に当
つています。

また、二宮町の町議、議長を
務めた経験を生かし、湘南地
区連合会の会長としても活躍
されており、地域内に留まら
ず、湘南地区という広いエリア
の安全・安心まちづくりの発展
にも大きく寄与されています。

生まれは満州、父の伯父が
経営する国策会社操業のため
一家で満州へ渡りました。名前
の「環」は「人間が丸くなるよ
うに」との願いをこめて父親が
命名したとのこと。曲がっ
たことが大嫌いな性分で、引き
受けた役目や言ったことは必
ず実行する。しかしながら「堅
くやつても苦しいだけ、ほどよ
い加減で精一杯やるだけ。」と
気負いを感じさせないのも会
長のキャラクターです。

の風物詩ともなっているこの駅伝
も今年で87回を数えています。
毎年、歩道にできた人垣の
整理や交通指導にあたる役員
や交通指導員は、駅伝選手の無
事通過を見届けてから正月を
迎えることとなります。

また、会長は、近年のテレビ
完全放映の影響で応援者が毎
年増えるなか、有志による「湘
南二宮箱根駅伝を楽しく見る
会」のリーダーも務め、母校駒
澤大学の応援に熱い思い入れを
する熱血漢の一面もあります。

管内から悲惨な交通事故を
撲滅するため、積極的に各種
事業に取り組んでいる会長で
すが、本年も健康に留意され、
ますますのご活躍を期待して
います。
（取材協力：大磯地区交通安
全協会）

インフォメーション

- 安全委員会
2月17日(木)
県協会会館
- 企画委員会
2月25日(金)
県協会会館

こんにちは
港南交通安全協会です

新年明けましておめでとうござい
ます。

当協会は、昭和44年10月、行政
区の再編により、大岡交通安全協
会から分離発足しました。県内では
珍しくなりましたが、警察署
内の一角に事務所を構え、事務長
と職員3名の交替制で窓口業務を
行っています。昨年、区制40周年を
迎えました。昔は緑豊かな丘陵に
囲まれた農村地帯も、今では大規
模な宅地開発の波に乗り、分区当
時9万5千人余の人口が現在では
22万1千人を超え、農村から住宅都
市へと大きく変貌しました。

開発当時、核家族と言われなが
ら港南区を支えた若い世代は、時と
ともに子ども達が独立し、シルバー

(65歳以上)の割合が人口の約22
%となり、子ども達の声で賑やかだ
った公園も、今ではシルバーの方々
が楽しそうにゲートボールに興じて
いるお元気な姿を多く見かけます。

現在の港南区には、京浜急行線、
JR根岸線、市営地下鉄の3つの鉄
道の他、幹線道路として鎌倉街道、
環状2号、3号線が縦横に走り、特に
ターミナルとして賑わっている上大
岡、港南台地区は商業施設が集中
し、利便性、居住性が高いことから、
交通流が集中して交通事故発生
の危険性も増加しています。

昨年は残念ながら区内で4名の
尊い命が失われましたが、本年は
「交通事故死ゼロ」を目指し、高森
会長以下多くの交通ボランティアの
皆様と、関係機関・団体と強力な連
携を図り、「小学校の交通安全教室」、
「シルバーの交通安全懇話会」



等のほか、各地域で行われる交通
安全の集いに積極的に参加し、交
通安全広報・啓発活動を推進して
いきたいと考えています。

今後も、地域の皆様の交通安全
意識の向上を目標に、笑顔の窓口
対応で、職員が一致協力して頑張
ってまいりますので、本年もよろしく
お願いいたします。

最後になりましたが、皆様のご健
勝とご活躍を心からお祈り申し上げ
ます。

(堀内 記)

地区交通安全協会の活動紹介

～飲酒運転根絶強化月間～

あなたの会費が交通安全活動に役立っています



中原
武蔵小杉駅周辺の飲食店を訪問して、チラシや啓発物などを配布しながら「飲酒運転根絶」を呼びかけました。



摩多
小田急向ヶ丘遊園駅周辺の飲食店を訪問して、チラシや啓発物などを配布しながら「飲酒運転根絶」を呼びかけました。



柄橋
松田町役場で出陣式の後、旧国道246号河津交差点で交通監視を行い、「飲酒運転根絶」を呼びかけました。



名老海
相鉄海老名駅ピナウオーク自由通路周辺で、乗降客にチラシや啓発物などを配布しながら「飲酒運転根絶」を呼びかけました。

沢金
京急金沢八景駅周辺の飲食店を訪問して、チラシや啓発物を配布しながら「飲酒運転根絶」を呼びかけました。



南
大鷲神社周辺で行われた西の市で、ハンドルキーパーのぼり旗などを掲出して道行く人達に「飲酒運転根絶」を呼びかけました。



谷ヶ土保
国道16号の警察署前で行った飲酒運転根絶キャンペーンで、通行人に啓発物を配布しながら「飲酒運転根絶」を呼びかけました。



北港
新横浜駅周辺で行った飲酒運転根絶キャンペーンで、通行人にチラシや啓発物を配布しながら「飲酒運転根絶」を呼びかけました。



編集後記

明けましておめでとうございます。交通死亡事故は、何年もの間、減少傾向が続いていましたが、最近はその傾向が鈍くなってきています。言うより、増加傾向に転じて来たと言えるのかも知れません。そんな傾向に歯止めをかける意味からも、交通安全協会は「ハンドルキーパー運動」と「反射材の普及」のための広報啓発活動を、今年も最重要として取り組んでいきます。死者数減少のためには、こんな時こそ、地味な広報啓発活動を根気よくコツコツと続けることが重要だと思っております。ところで県協会は、昨年に公益財団法人への移行認定申請を行いました。世の中のあらゆるものが、新しい時代に合ったもの変わろうとしています。その波の中で、今まで以上に公益活動を進めようと、県協会は公益法人への道を選択しました。この春には認定を受け、新たな法人としてより公益性の高い組織になる予定です。引き続きのご支援ご協力をお願いいたします。この認定申請には、知識の吸収や準備に四年半の歳月を要しました。多くの困難がありました。が、当局始め各方面のご指導と協会職員の努力で、申請することが出来ました。今後も、困難な道を歩むこととなりますが、努力して参ります。認定申請に関わった全ての皆さんに感謝を申し上げます。新たな法人として再出発する県安協です。交通安全協会に関わる全てのボランティアの皆さん、そして交通安全協会を応援して下さいの大勢の皆さん、本年もよろしくお願いたします。(T・K記)